

授業の形態／シラバス／履修登録

ここでは大学での学びについて、学生のみなさんに配布している「法政大学学習支援ハンドブック2018」から引用して会員のみなさんにお伝えします。

時間割をつくる

①授業の形態

大学での授業には、講義、実験・実習、ゼミ(演習・卒業研究)と大きく分けて3種類の形態があります。

【講義】

講義科目では、教員の講義を聞いてノートを取ることが授業参加の第一歩ですが、実は講義のスタイルは教員によって違いますし、板書のスタイルも十人十色で、学生にとってはノートの取り方が学びの基本です。多くの授業では総まとめとして、期末に試験やレポートなどが課されます。

【実験・実習】

実験・実習科目ではグループでのテーマに沿った実験と結果の分析、コンピュータや作品制作のワークショップ、社会調査のフィールドワークなどがあります。課題に挑戦して、講義だけでは知りえないことを探求します。

【ゼミ(演習・卒業演習)】

ゼミ(演習・卒業演習)では、指導教員の助言を受けながら、時間をかけて問題意識を深め研究に取り組みます。一般にはゼミの成果がいわゆるゼミ論ですが、それが卒業研究、卒業論文(卒論)となる学部もあります。ゼミとは大学での学びの到達点ともいえるでしょう。

②シラバス

それぞれの科目の内容を詳しく知るために、学生のみなさんは学部が発行する「シラバス」に必ず目を通します。シラバスでは、その科目の目的、学習の到達目標、授業計画、成績評価の方針などが記載されています。このシラバスは学部で配布されますが、冊子とWebによるものがあります。

③履修登録

最良の履修計画は一人ひとり異なります。自分にとって最良の履修とは何かをよく考えて、どの科目を履修するか決めます。先生方や先輩、事務の窓口にアドバイスをもらうのも参考になるでしょう。学部学科によっては、必修科目を多く指定するところもあ

れば、あらかじめ受講するクラスを指定する科目もあります。履修の手引きとシラバスをよく読んで、学部の教育方針や履修指針をきちんと理解することが大切です。

履修や成績などにかかわる各種システム

大学には履修や成績、Webシラバスなど、授業や履修にかかわる様々なシステムがあります。用途により、利用するシステムが違いますので、内容をよく理解して活用することが求められます。

①情報システム(ユーザーサポートサイト)

<https://www.hosei.ac.jp/as/student/>

Web履修登録システム、各種お知らせ配信サービスなど、学部の事務を中心に学生生活をサポートします。

【Web版の主な機能】

履修申請：履修登録ができます。※履修登録は全員が必ず行わなければなりません。

授業・時間割照会：自分が履修登録した授業時間割を確認できます。事務による履修登録承認後利用できます。

休講・補講状況照会：履修登録した授業の休講・補講を確認できます。事務による履修登録承認後利用できます。

抽選授業履修申請：抽選対象科目の申請、および結果の確認ができます。

単位修得状況照会：自分が修得した単位を確認することができます。

キャリア就職：就職活動の補助ツールとして、企業検索などができます。

奨学金申請：奨学金の申請ができます。

【携帯版の主な機能】

時間割：自分が履修登録した授業時間割を確認できます。事務による履修登録承認後利用できます。

休講情報：履修登録した授業の休講情報を確認することができます。

②Webシラバス

<https://syllabus.hosei.ac.jp/>

各授業の概要をWeb上で公開しています。授業の到達目標、テーマ、授業計画、テキスト・参考書、成績評価基準など、授業を選ぶ際の参考となる情報が閲覧できます。